

平成 28 年度事業報告書

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、平成 28 年度においてもユーザ側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として以下の事業を展開して参りました。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行って参りました。技能検定事業の活性化策として受検者増を最大の課題と位置づけ、特別委員会でその対策を検討し強力に進めるとともに、最近の技術進展や施工業界のニーズに応えるべく試験内容の改革を検討しました。また、平成 29 年度から 35 歳未満の若者の技能検定受検料減免措置制度導入されたことにより、受検者増の観点から当協議会もこの減免制度適用の申請を行い、承認され、新年度に向け本格的な手続き準備に入りました。

(2) INIP 認定事業

今年度末総認定者数は 6,367 名となりました。また、認定者・受験者への情報提供及び普及・啓蒙を図るため、新たな方策の検討に入りました。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進して参りました。これらの事業を行い人材育成ならびに技術の普及に努め施工技術者の社会的地位の向上を目指しました。

① 第 54 回技能五輪全国大会への活動支援

山形県天童市で開催された第 54 回技能五輪全国大会の運営協力団体として競技用機材・部材の調達・提供など技能五輪支援活動に引続き積極的に協力しました。

② 第 12 回情報通信配線技術フォーラム 2016

平成 28 年度 4 月 6 日～8 日に東京ビッグサイトで第 12 回目の情報通信配線技術フォーラム 2016 を第 16 回光通信技術展（FOE2016）と共催で開催を致しました。このフォーラムは第 54 回技能五輪全国大会の予選会を兼ねており、全国大会「情報ネットワーク施工」職種出場選手 24 名を選出しました。

③ 各表彰制度への受賞ならびに推薦

平成 28 年春の黄綬褒章、平成 28 年秋の叙勲で協議会理事が受章されました。その他、各表彰制度への推薦を行いました。